

五 一神のこゝろとらじーめと神といふ聖書とや
 らしむと云父のあづめて世よつとんがーめとつとんハ神の
 子ありといひーよよりてびくをこゝろとらじとらじんやと
 つと父のこゝろとなんぢと信ぢるとあるれもー
 られとやんバと信ぢるとそのこゝろを信ぢるー
 やそれバぢんぢく父ハとありこれハ父とありと
 て信ぢるとやうに云 ーとて耶穌ととんとこれ
 とよそのとよのづれてある早 ーヨロダンのびくヨハ子の洗
 禮とやんせーとらじよめんとかこよとらじ四 ーらじの

人ヨハ子と云とらじヨハ子ハと云とてあつとれど
 もヨハ子と云とらじとらじハと云とてあつとれど
 ーよとらじの人ハと云と信ぢる

第十一章

一 マリアとその姉マルタのびくあるベタニアとラザロと
 一 やあるものありニそのやとーラザロハ主と没薬とあり
 一 おのれの髪のけとりて主のあ とぬぐひーマリアの兄
 弟なりニゆえようとの姉妹耶穌と主のいらくーむもの
 一 やあるなりといひつとーける 四 耶穌ととらじといひける

のちの死するにあつて神のちとあふハ神の子
 とあつてあるあり^五 すると耶穌ハマルタとその妹とラザロ
 とといつてあり^六 され^七 ちあつてころしてそのころは^八 二日
 じつち^九 ころそのち門徒よひげらハ^十 ユウダヤ
 ち^{十一} 門徒よひげら、ラビユウダヤ人ハち^{十二} 石を
 めつて^{十三} 主とせん^{十四} せよ^{十五} さい^{十六} がい^{十七} ころ^{十八} さい^{十九} さい^{二十}
 九耶穌ころ^{二十一} げらハ一日のち^{二十二} 十二時あつて^{二十三} ち^{二十四}
 のち^{二十五} さい^{二十六} さい^{二十七} さい^{二十八} さい^{二十九} さい^{三十}
 ころ^{三十一} さい^{三十二} さい^{三十三} さい^{三十四} さい^{三十五} さい^{三十六} さい^{三十七} さい^{三十八} さい^{三十九} さい^{四十}

そハ^{四十一} さい^{四十二} さい^{四十三} さい^{四十四} さい^{四十五} さい^{四十六} さい^{四十七} さい^{四十八} さい^{四十九} さい^{五十}
 のち^{五十一} 門徒よひげらハ^{五十二} さい^{五十三} さい^{五十四} さい^{五十五} さい^{五十六} さい^{五十七} さい^{五十八} さい^{五十九} さい^{六十}
 さい^{六十一} さい^{六十二} さい^{六十三} さい^{六十四} さい^{六十五} さい^{六十六} さい^{六十七} さい^{六十八} さい^{六十九} さい^{七十}
 さい^{七十一} さい^{七十二} さい^{七十三} さい^{七十四} さい^{七十五} さい^{七十六} さい^{七十七} さい^{七十八} さい^{七十九} さい^{八十}
 さい^{八十一} さい^{八十二} さい^{八十三} さい^{八十四} さい^{八十五} さい^{八十六} さい^{八十七} さい^{八十八} さい^{八十九} さい^{九十}
 さい^{九十一} さい^{九十二} さい^{九十三} さい^{九十四} さい^{九十五} さい^{九十六} さい^{九十七} さい^{九十八} さい^{九十九} さい^百

とともに死せしむるにありて
 耶穌の死せしむるにありて
 三日ありて四日ありて
 五日ありて六日ありて
 七日ありて八日ありて
 九日ありて十日ありて
 十一日ありて十二日ありて
 十三日ありて十四日ありて
 十五日ありて十六日ありて
 十七日ありて十八日ありて
 十九日ありて二十日ありて
 二十一日ありて二十二日ありて
 二十三日ありて二十四日ありて
 二十五日ありて二十六日ありて
 二十七日ありて二十八日ありて
 二十九年ありて三十年ありて
 三十一年ありて三十二年ありて
 三十三年ありて三十四年ありて
 三十五年ありて三十六年ありて
 三十七年ありて三十八年ありて
 三十九年ありて四十年ありて
 四十一年ありて四十二年ありて
 四十三年ありて四十四年ありて
 四十五年ありて四十六年ありて
 四十七年ありて四十八年ありて
 四十九年ありて五十年ありて
 五十年ありて五十年ありて

耶穌の死せしむるにありて
 三日ありて四日ありて
 五日ありて六日ありて
 七日ありて八日ありて
 九日ありて十日ありて
 十一日ありて十二日ありて
 十三日ありて十四日ありて
 十五日ありて十六日ありて
 十七日ありて十八日ありて
 十九日ありて二十日ありて
 二十一年ありて二十二年ありて
 二十三年ありて二十四年ありて
 二十五年ありて二十六年ありて
 二十七年ありて二十八年ありて
 二十九年ありて三十年ありて
 三十一年ありて三十二年ありて
 三十三年ありて三十四年ありて
 三十五年ありて三十六年ありて
 三十七年ありて三十八年ありて
 三十九年ありて四十年ありて
 四十一年ありて四十二年ありて
 四十三年ありて四十四年ありて
 四十五年ありて四十六年ありて
 四十七年ありて四十八年ありて
 四十九年ありて五十年ありて
 五十年ありて五十年ありて

るバ神の威光と云んとて色汝よりいふはあむむわ
 四 びとて死せしめをばいふるはよりいふはのびに耶穌
 めをあげていひけるは父やににまいたまひにあらが
 といふなり 四 ぬよににまいたまひにあらが
 かくいひハそむにふ人のために神にまいたまひたま
 ひこそを信ぜよせんがもあり 四 かくいひたま
 こゝろをラザロよびよとよびふ 四 死せしめを布とて
 手ぬぐとせられまじかろく手ぬぐひとてつとまれて
 四 耶穌よりいひけるはににまいたまひにあらが

四 リアといふにいふはユウダヤ人耶穌のせいとて
 おろくハれを信ぜり^{四六}れどもそのうちよパリサイの人は
 ゆゑに耶穌のせいとていふはのあり 四 祭司のせい
 といふパリサイの人と評議やくとよびあつていひける
 この人おろくのせいとていふはににまいたまひにあらが
 といふはににまいたまひにあらがといふはににまいたまひに
 の人こそを信ぜんといふはににまいたまひにあらがの
 といふはににまいたまひにあらがといふはににまいたまひに
 の祭司のせいとていふはににまいたまひにあらがのせいとて

とてうももさくぞ^五 ^六國中くわんちゆうのいみのあつらざるより
 ひかりなきのがかりよ死せるハハ^七 ^八のたまふよこのまじ
 り^九 ^十 ^{十一} ^{十二} ^{十三} ^{十四} ^{十五} ^{十六} ^{十七} ^{十八} ^{十九} ^{二十} ^{二十一} ^{二十二} ^{二十三} ^{二十四} ^{二十五} ^{二十六} ^{二十七} ^{二十八} ^{二十九} ^{三十}
 の祭司しやうしのもつゝるゆゑよ耶穌イエスのたまふのいかに死を
 ら^{三十一} ^{三十二} ^{三十三} ^{三十四} ^{三十五} ^{三十六} ^{三十七} ^{三十八} ^{三十九} ^{四十} ^{四十一} ^{四十二} ^{四十三} ^{四十四} ^{四十五} ^{四十六} ^{四十七} ^{四十八} ^{四十九} ^{五十}
 かり^{五十一} ^{五十二} ^{五十三} ^{五十四} ^{五十五} ^{五十六} ^{五十七} ^{五十八} ^{五十九} ^{六十} ^{六十一} ^{六十二} ^{六十三} ^{六十四} ^{六十五} ^{六十六} ^{六十七} ^{六十八} ^{六十九} ^{七十}
 るよよりて^{七十一} ^{七十二} ^{七十三} ^{七十四} ^{七十五} ^{七十六} ^{七十七} ^{七十八} ^{七十九} ^{八十} ^{八十一} ^{八十二} ^{八十三} ^{八十四} ^{八十五} ^{八十六} ^{八十七} ^{八十八} ^{八十九} ^{九十}
 よゆ^{九十一} ^{九十二} ^{九十三} ^{九十四} ^{九十五} ^{九十六} ^{九十七} ^{九十八} ^{九十九} ^百 ^{百一} ^{百二} ^{百三} ^{百四} ^{百五} ^{百六} ^{百七} ^{百八} ^{百九} ^{百十} ^{百十一} ^{百十二} ^{百十三} ^{百十四} ^{百十五} ^{百十六} ^{百十七} ^{百十八} ^{百十九} ^{百二十} ^{百二十一} ^{百二十二} ^{百二十三} ^{百二十四} ^{百二十五} ^{百二十六} ^{百二十七} ^{百二十八} ^{百二十九} ^{百三十} ^{百三十一} ^{百三十二} ^{百三十三} ^{百三十四} ^{百三十五} ^{百三十六} ^{百三十七} ^{百三十八} ^{百三十九} ^{百四十} ^{百四十一} ^{百四十二} ^{百四十三} ^{百四十四} ^{百四十五} ^{百四十六} ^{百四十七} ^{百四十八} ^{百四十九} ^{百五十} ^{百五十一} ^{百五十二} ^{百五十三} ^{百五十四} ^{百五十五} ^{百五十六} ^{百五十七} ^{百五十八} ^{百五十九} ^{百六十} ^{百六十一} ^{百六十二} ^{百六十三} ^{百六十四} ^{百六十五} ^{百六十六} ^{百六十七} ^{百六十八} ^{百六十九} ^{百七十} ^{百七十一} ^{百七十二} ^{百七十三} ^{百七十四} ^{百七十五} ^{百七十六} ^{百七十七} ^{百七十八} ^{百七十九} ^{百八十} ^{百八十一} ^{百八十二} ^{百八十三} ^{百八十四} ^{百八十五} ^{百八十六} ^{百八十七} ^{百八十八} ^{百八十九} ^{百九十} ^{百九十一} ^{百九十二} ^{百九十三} ^{百九十四} ^{百九十五} ^{百九十六} ^{百九十七} ^{百九十八} ^{百九十九} ^{百十}

り^一 ^二 ^三 ^四 ^五 ^六 ^七 ^八 ^九 ^十 ^{十一} ^{十二} ^{十三} ^{十四} ^{十五} ^{十六} ^{十七} ^{十八} ^{十九} ^{二十} ^{二十一} ^{二十二} ^{二十三} ^{二十四} ^{二十五} ^{二十六} ^{二十七} ^{二十八} ^{二十九} ^{三十}
 の祭司しやうしのいかに^{三十一} ^{三十二} ^{三十三} ^{三十四} ^{三十五} ^{三十六} ^{三十七} ^{三十八} ^{三十九} ^{四十} ^{四十一} ^{四十二} ^{四十三} ^{四十四} ^{四十五} ^{四十六} ^{四十七} ^{四十八} ^{四十九} ^{五十}
 けー耶穌イエスのありうとある人あつてつぐとやうり
 られはうととてんがいあやうり

第十二章

耶穌ハビザレエーのまちのめ六日まゝに死にまゝに
 みづからせーラザロのまゝとちひなるベタニヤにまゝに
 ころしてしるしよふちまひとそふかしてマルタとマリアとを
 ー耶穌とまゝに坐してふるまひまゝにうひー人のうち
 ーラザロハひとりなりーマリアハまゝにやぐナダと
 あつたまゝにまゝにうひあづー一かゝりて耶穌のあ
 ーまゝのまゝにうひうらちまゝにうひうらちまゝに
 のひかりイスカリヲテなるニモンの子耶穌とまゝに

ーユウダガひびるハのまゝにやぐまゝに四十両に
 うまゝにまゝにうひうらちまゝにうひうらちまゝに
 あつたまゝにうひうらちまゝにうひうらちまゝに
 らまゝにまゝにうひうらちまゝにうひうらちまゝに
 ーのまゝにうひうらちまゝにうひうらちまゝに
 てまゝにうひうらちまゝにうひうらちまゝに
 へまづーまゝにうひうらちまゝにうひうらちまゝに
 ーまゝにうひうらちまゝにうひうらちまゝに
 ちつてまゝにうひうらちまゝにうひうらちまゝに

がしせしるラザロをもえんとてさされり + 祭司のまゝ
 くらラザロをもまじしるさんともえられくらザロより
 ておろくのユダヤ人ゆきて耶穌を信ぜしゆえなり ±
 翌日まつりにしりーひとくく耶穌エロソルマよきしる
 ととて ± 檣櫓のえごととりゆきてきとむくホサナ
 よ主の名よどりてさしるイスラエルの王ハルキルベトよ
 ぶくマシー 西 耶穌驢馬の子とえてこしよのまじり ±
 のむせめおそくかえよなんぢの王ハ驢馬の子よのりて
 こころしくさるされるこぞ ± きのでーとめこの

こころさしるざりーがも耶穌天よのざりーのらめこ
 うきよついでさるをれてありかすいれいこのこぞおさる
 ひーとぶひくさるさるよとにありーひとくく
 うきがラザロを墓よりよびいしてよみくらせーこと
 とありまーなり ± 耶穌このまきーをみせーこととて
 ーゆきよひのくまきしるをむくり ± 九バリサイの人
 あひたぐひよひびるハなんぢのまじりよきることあり
 こよ世ハうきよきくマキおぐむいめよまじり ± の
 ざりー人のうちよこ子ののくあり ± 九ガリラヤ

のベツサイダの人なるピリツポよまをこりてきてくひげらハ
 先生よこりて耶穌よまをえんことをぬぐよ^三ピリツポは
 こりてアンデレよつぐ^四アンデレピリツポとこもよまを^五耶穌よつぐ
^三耶穌よこりてよこりてくひげらハ人の子あがあらざむと
 言ひしにきり^四言中^五にまをこりて汝ら^六ふつげんを^七ひと
 つぐの麥地よおちてくちがれ^八ば^九い^十つよてあるのそ
 ち^{十一}くれを^{十二}ば^{十三}お^{十四}ち^{十五}くの^{十六}まを^{十七}む^{十八}が^{十九}げ^{二十}ら^{二十一}ズ^{二十二}一^{二十三}五^{二十四}その^{二十五}ゆ^{二十六}ち^{二十七}を
 こ^{二十八}む^{二十九}の^{三十}ハ^{三十一}を^{三十二}し^{三十三}と^{三十四}ら^{三十五}一^{三十六}な^{三十七}ん^{三十八}この^{三十九}世^{四十}よ^{四十一}その^{四十二}ら^{四十三}の^{四十四}ち
 と^{四十五}こ^{四十六}ま^{四十七}を^{四十八}る^{四十九}の^{五十}ハ^{五十一}を^{五十二}し^{五十三}と^{五十四}ら^{五十五}一^{五十六}な^{五十七}ん^{五十八}この^{五十九}世^{六十}よ^{六十一}その^{六十二}ら^{六十三}の^{六十四}ち

い^{六十五}ん^{六十六}人^{六十七}を^{六十八}一^{六十九}の^{七十}を^{七十一}し^{七十二}と^{七十三}ら^{七十四}ズ^{七十五}い^{七十六}の^{七十七}を^{七十八}し^{七十九}よ^{八十}ま^{八十一}を^{八十二}ら^{八十三}ズ^{八十四}一^{八十五}は
 よ^{八十六}つ^{八十七}ま^{八十八}の^{八十九}の^{九十}ハ^{九十一}つ^{九十二}が^{九十三}お^{九十四}ち^{九十五}の^{九十六}ま^{九十七}を^{九十八}ら^{九十九}ズ^{一百}一^{一百一}ハ^{一百二}人^{一百三}を^{一百四}一^{一百五}の^{一百六}を^{一百七}し^{一百八}と^{一百九}ら^{二百}ズ^{二百一}一^{二百二}は
 よ^{二百三}つ^{二百四}ま^{二百五}が^{二百六}父^{二百七}ハ^{二百八}を^{二百九}し^{三百}と^{三百一}ら^{三百二}ズ^{三百三}一^{三百四}ハ^{三百五}つ^{三百六}が^{三百七}い^{三百八}は^{三百九}ら^{四百}ズ^{四百一}一^{四百二}は
 ら^{四百三}を^{四百四}し^{四百五}と^{四百六}ら^{四百七}ズ^{四百八}一^{四百九}ハ^{五百}つ^{五百一}が^{五百二}い^{五百三}は^{五百四}ら^{五百五}ズ^{五百六}一^{五百七}は
 こ^{五百八}の^{五百九}を^{六百}し^{六百一}と^{六百二}ら^{六百三}ズ^{六百四}一^{六百五}ハ^{六百六}つ^{六百七}が^{六百八}い^{六百九}は^{七百}ら^{七百一}ズ^{七百二}一^{七百三}は
 こ^{七百四}の^{七百五}を^{七百六}し^{七百七}と^{七百八}ら^{七百九}ズ^{八百}一^{八百一}ハ^{八百二}つ^{八百三}が^{八百四}い^{八百五}は^{八百六}ら^{八百七}ズ^{八百八}一^{八百九}は
 聲^{八百九}天^{九百}より^{九百一}こ^{九百二}り^{九百三}て^{九百四}こ^{九百五}の^{九百六}を^{九百七}し^{九百八}と^{九百九}ら^{一千}ズ^{一千一}一^{一千二}は
 こ^{一千三}の^{一千四}を^{一千五}し^{一千六}と^{一千七}ら^{一千八}ズ^{一千九}一^{二千}ハ^{二千一}つ^{二千二}が^{二千三}い^{二千四}は^{二千五}ら^{二千六}ズ^{二千七}一^{二千八}は
 とい^{二千九}ハ^{三千}ある^{三千一}人^{三千二}天^{三千三}の^{三千四}つ^{三千五}つ^{三千六}ハ^{三千七}を^{三千八}し^{三千九}と^{四千}ら^{四千一}ズ^{四千二}一^{四千三}ハ^{四千四}つ^{四千五}つ^{四千六}り^{四千七}一^{四千八}ハ^{四千九}耶穌^{五千}とい

してんくわがにこのいんまにさういあよあしぞなんぢらのい
あありしよこの世のつこの許定ゆるぎありまこの世のぬーく
あひいじらるべー三くれきー地ちのうよあびられなむ
この萬民ばんみんといふさうぞべーかぐいひー耶穌イエスのある死しま
死しなんとするをあめさーあり言のびぐー三まはこくし
こつれくキリストキリストのあぶらむくまものとおふそよおひそ
いづーよなんぢ人の子このあしぞあびらんとしよハあん
ぞやこの人の子こハこれぞや五耶穌イエスのあしにいひら
なふあぶらむくのうちひらハなんぢらのあしよあめ

くつをハなんぢにむくつあめさうよひらあかうちよ
あふやこにあくつこのあー三まはこくし
なんぢのひらあかうちよひらの子ことあぶらむく
ひらと信まぜよ耶穌イエスのあしにいひら
あめ三耶穌イエスのあしにいひらあかうちよあめ
しとらむくつあかうちよと信まぜよ三まはこくし
いづのひらと信まぜーや主まの手てハこれよあし
まはこくしやびんや五ガヤのいひー三まはこくし
元あしとらむくつあかうちよと信まぜよ三まはこくし

十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

おやせたまひのーゆえにや^幸父のおやせにまをさるるに
まをさるるにまをさるるにまをさるるにまをさるるに
まをさるるにまをさるるにまをさるるにまをさるるに

第十三章

まをさるるのまをさるるのまをさるるのまをさるるの
父よりまをさるるのまをさるるのまをさるるのまをさるるの
まをさるるのまをさるるのまをさるるのまをさるるの
父食のまをさるるのまをさるるのまをさるるのまをさるるの
のユウダといふもの心は耶穌とまをさるるのまをさるるの

まをさるる^ニ耶穌父ハその手はまをさるるのまをさるるの
神よりまをさるる神はまをさるるのまをさるるの
着をぬぎ手ぬぎひをぬぎてまをさるるのまをさるるの
水とまをさるる門徒のまをさるるのまをさるるの
まをさるるのまをさるるのまをさるるのまをさるるの
まをさるるのまをさるるのまをさるるのまをさるるの
まをさるるのまをさるるのまをさるるのまをさるるの
まをさるるのまをさるるのまをさるるのまをさるるの
まをさるるのまをさるるのまをさるるのまをさるるの
まをさるるのまをさるるのまをさるるのまをさるるの

あゝんぞんぐ汝らせんぐハタシと關係かんけいとものことありぞん

テロテロトシヨハヒヒガハ主ぬしたづなぐあ一ヒのさなむとま

手てとろうとあひいたま⁺耶穌イエストシヒのイハハ

らヒのイハハ一ヒのろあヒハヨヒのイハハ一ヒの

くヒのイハハヒのイハハヒのイハハヒのイハハ

あヒのイハハヒのイハハヒのイハハヒのイハハ

らヒのイハハヒのイハハヒのイハハヒのイハハ

あヒのイハハヒのイハハヒのイハハヒのイハハ

らヒのイハハヒのイハハヒのイハハヒのイハハ

トシを師しまヒハ主ぬしトヒのイハハヒのイハハ

らヒのイハハヒのイハハヒのイハハヒのイハハ

なんぢらのあヒとあヒとヒの汝げんごらもまた

かヒトヒの汝げんごらもまた

はヒの汝げんごらもまた

はヒの汝げんごらもまた

はヒの汝げんごらもまた

はヒの汝げんごらもまた

聖書よこれとまにありとていふものよそい
 て踵かかとをあげいとあつたれよかあるいもありたそのこ
 とのいへんを信じてキリストとせんありい
 ちあまよはるうちんぢよよくまはるに
 ちんぢよふくんとくをいへんは
 うくまをいへんは
 るありニ耶穌のいへんをいへんは
 いひひらひまをいへんは
 うちよひよりいへんは

たがひよかをいへんは
 ぐりニ耶穌のいへんをいへんは
 てありいへんをいへんは
 ちあんとくをいへんは
 いへんをいへんは
 いへんをいへんは
 のユウダよあつたりモ
 つひよれよいりー耶穌のいへんは

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

よつが父とつとくへにせよ世よあまのまじい父は
よ命とつとくへにせよ世よあまのまじい父は

第十五章

よつが父とつとくへにせよ世よあまのまじい父は
よ命とつとくへにせよ世よあまのまじい父は
よつが父とつとくへにせよ世よあまのまじい父は
よ命とつとくへにせよ世よあまのまじい父は

よつが父とつとくへにせよ世よあまのまじい父は
よ命とつとくへにせよ世よあまのまじい父は
よつが父とつとくへにせよ世よあまのまじい父は
よ命とつとくへにせよ世よあまのまじい父は

の實^{じつ}とむせんでこが父^{ちち}ハそれよおしでふましとてうへへバ
 めんぢくもこがでーなうん^{うん}父^{ちち}の^{ちち}とてうへへーとて
 せよまういせんぢくもこがめりこがうへへまよとて⁺これ
 こが父^{ちち}の^{ちち}とてめまふりてその^{ちち}とてまよとて⁺とて
 らよこがうへへとてまよとてまよとてまよとてまよとて
 ようこびよ^{いんぢ}らうりまういせんぢくもこがうへへまよとて
 く⁺とてめ⁺とてまよとてまよとてまよとてまよとて
 まうたぢくよとてまよとてまよとてまよとてまよとて
 人^{ひと}その^{ちち}めらと^{ちち}とてまよとてまよとてまよとてまよとて

これよりおろひにうたはなう⁺とてまよとてまよとてまよとて
 と、その^{ちち}め⁺とてまよとてまよとてまよとてまよとて
 らとてまよとてまよとてまよとてまよとてまよとて
 せんぢくも^{ちち}とてまよとてまよとてまよとてまよとて
 とてまよとてまよとてまよとてまよとてまよとて
 まうとてまよとてまよとてまよとてまよとてまよとて
 てまよとてまよとてまよとてまよとてまよとてまよとて
 任^{にん}ぢくも^{ちち}とてまよとてまよとてまよとてまよとて
 とてまよとてまよとてまよとてまよとてまよとてまよとて

たがひよりのくまんだんたむたむた(あむた)ハれとむたむたハ世ハ
ちんぐらとむたむた(あむた)ハれとむたむたハ世ハ
とちるブーえちんぐらとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
ちんぐらとむたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
とむたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ

むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ
むたむた(あむた)ハ世ハとむたむた(あむた)ハ世ハ

らぬいあよ父よ驚はんといふまじき事よとあまじはんらるるに
 もをいひていふに父より言ふことと信ぜしよ
 より父はんがいのこにいひていふに父よりいひていふに世
 によりていふに世とふかれて父よゆく^元でいふに
 するに主あはれいひてたすといふに主よあはれ
 主のちかざるもあはれいひてたすといふに主よあはれ
 らざるといふに主の神よりいひていふに信ぜ
^三耶穌よといふに信ぜらるる^三にやんらるる
 のくらしの家のよふかれていふにいとくらしよとす

第十七章

いふにいふに父よいとくらしよとす
 ていふにいとくらしよとす
 ちあんたあはれいひていふに世よとくらしよとす
 どもいとくらしよとす

耶穌よといふに天とあはれいひていふに父よ
 といふに子があはれいひていふに子よとあはれ
 といふにいとくらしよとす
 といふにいとくらしよとす
 といふにいとくらしよとす
 といふにいとくらしよとす

りをいひたまひて三 ちしるがあはれにさひたりたまひて
 神とていふにたまひて耶穌キリストとていふにたまひて
 といふにたまひて四 といふにたまひて五 といふにたまひて六
 といふにたまひて七 といふにたまひて八 といふにたまひて九
 といふにたまひて十 といふにたまひて十一 といふにたまひて十二
 といふにたまひて十三 といふにたまひて十四 といふにたまひて十五
 といふにたまひて十六 といふにたまひて十七 といふにたまひて十八
 といふにたまひて十九 といふにたまひて二十 といふにたまひて二十一
 といふにたまひて二十二 といふにたまひて二十三 といふにたまひて二十四
 といふにたまひて二十五 といふにたまひて二十六 といふにたまひて二十七
 といふにたまひて二十八 といふにたまひて二十九 といふにたまひて三十

といふにたまひて三十一 といふにたまひて三十二 といふにたまひて三十三
 といふにたまひて三十四 といふにたまひて三十五 といふにたまひて三十六
 といふにたまひて三十七 といふにたまひて三十八 といふにたまひて三十九
 といふにたまひて四十 といふにたまひて四十一 といふにたまひて四十二
 といふにたまひて四十三 といふにたまひて四十四 といふにたまひて四十五
 といふにたまひて四十六 といふにたまひて四十七 といふにたまひて四十八
 といふにたまひて四十九 といふにたまひて五十 といふにたまひて五十一
 といふにたまひて五十二 といふにたまひて五十三 といふにたまひて五十四
 といふにたまひて五十五 といふにたまひて五十六 といふにたまひて五十七
 といふにたまひて五十八 といふにたまひて五十九 といふにたまひて六十
 といふにたまひて六十一 といふにたまひて六十二 といふにたまひて六十三
 といふにたまひて六十四 といふにたまひて六十五 といふにたまひて六十六
 といふにたまひて六十七 といふにたまひて六十八 といふにたまひて六十九
 といふにたまひて七十 といふにたまひて七十一 といふにたまひて七十二
 といふにたまひて七十三 といふにたまひて七十四 といふにたまひて七十五
 といふにたまひて七十六 といふにたまひて七十七 といふにたまひて七十八
 といふにたまひて七十九 といふにたまひて八十 といふにたまひて八十一
 といふにたまひて八十二 といふにたまひて八十三 といふにたまひて八十四
 といふにたまひて八十五 といふにたまひて八十六 といふにたまひて八十七
 といふにたまひて八十八 といふにたまひて八十九 といふにたまひて九十
 といふにたまひて九十一 といふにたまひて九十二 といふにたまひて九十三
 といふにたまひて九十四 といふにたまひて九十五 といふにたまひて九十六
 といふにたまひて九十七 といふにたまひて九十八 といふにたまひて九十九
 といふにたまひて百

Handwritten text in Arabic script on the right page, consisting of approximately 12 lines of cursive script.

第十八章

Handwritten text in Arabic script on the left page, continuing from the right page, consisting of approximately 12 lines of cursive script.

耶穌このこととらひてのちその門徒とらふいでキテロンの
 谷をさうりさくよある園までとらふにりぬニルと
 コサヤコウダそのところとらふ耶穌とらむその
 ぐいとらふよそくあつまればりニよつてユウダひとく
 このつとものまゝ祭司のよとパリサイのよのぶとにいん
 ぶつ松明ととらふちんと武具ととらふてそくよとらふり
 四とて耶穌このちのれよかるととらふとらふとらふ
 とらふよとらひらハたとらふとらふとらふユウダよナザレの耶
 穌とこへけるハ耶穌とらふとらひらハとらふとらふとらふとらふ

コサヤコウダとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふ
 とらひらとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふ
 とらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふ
 ハナザレの耶穌とらふハ耶穌とらふとらひらハとらふとらふとらふ
 とらひらとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふ
 とらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふ
 とらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふ
 シモンペテロハとらひらとらふとらふとらふとらふとらふとらふ
 とらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふ
 とらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふとらふ

のちり士耶穌ペテロよつひけるハ残ともちたにおとめよ父の
 りさよたまひーさういふまじのまぢんやまこくに組
 人とそのときとユウダヤ人の小やくらん耶穌さうしてさぞ
 まつりまづこれとアナスよつこやくこれこゝの祭司の
 ときカヤパの舅きうはまじバあり古ひとり民のこめに死され
 ぶるさむりくとユウダヤ人よさめ一人ハこのカヤパさうりま
 シモンペテロとさるめで耶穌よさぞごりこの門徒祭司の
 ときこのさうさうののあまバ耶穌とまじに祭司のとき
 の庭よりぬまペテロハ門かどのそまにさうよ祭司のときこの

ときこのさうの門徒ハいぞ門かどをまのり下女しもめよつひてペテロと
 つきてさうぬまにさう門かどをまのり下女ペテロよつひけるハ
 はんぢもこの人の門徒のひとりよあさごりさうハさうぞ
 とつりまさうと小やくらん寒さむよさうて炭すすをたきあ
 まらたあよさうペテロもさうさうさうさうさうさうさ
 あさめりま祭司のとき耶穌よその門徒とそのとき
 ついてさうぬまに耶穌よさうさうさうさうさうさうさ
 せよさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさ
 ねよあさり殿いへよさうさうさうさうさうさうさうさうさ

三 せんぞとされよだづぬるやフゴりいーとるつとふこーの
よしづねよみよとてしつこつていーとるつとふこり三 耶穌
こつとといひよこつていーがやこんのかり手のか
よて耶穌とらひひかろハこつとて三 祭司のともたひ
るる三 耶穌とよこつていーがやこんのかり手のか
バあーとらひひかろハこつとて三 祭司のともたひ
いこつとらひひかろハこつとて三 祭司のともたひ
カヤパへおくりぬ三 シモンとペテロとらひひかろハ
あつとらひひかろハこつとて三 祭司のともたひ

三 シモンとペテロとらひひかろハこつとて三 祭司のともたひ
あつとらひひかろハこつとて三 祭司のともたひ
三 祭司のともたひ
あつとらひひかろハこつとて三 祭司のともたひ

ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと

第十九章

ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと

ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと
ユダヤ人の王とピラトと

けいこにさしつけしうよおとそありそのあたまをたてよあしをばはくま
 く死をばいぬめをりそはくまをばいぬくを神の子となせん
 かりハピラトこのうごくとまをてまをてくおそれたりま
 やいをたにりそ耶穌よひびるハヤンぢんとづこのめめ
 耶穌よまよこいぞ+ピラトよまひびるハヤンぢんと
 ざらら(ま)なんぢと十字架につくる權威ありま(ま)汝を
 せらまをせんいあるまをてくおとそ耶穌よひびるハヤンぢ
 上よりせんまをたまをてくおとそまをてひんい
 けいこまよこいぞ(ま)なんぢよまをてくおとそまをてく

おろひあるま(ま)ピラトよまをてくおとそまをてく
 どもユウダヤまをひんいでんおとそまをてくおとそまをてく
 忠義あるまのまをてくおとそまをてくおとそまをてく
 めのハカイザルよまをてくおとそまをてくおとそまをてく
 て耶穌よひびるハヤンぢんとづこのめめ
 ざらら(ま)なんぢと十字架につくる權威ありま(ま)汝を
 ア西その日ハヤンぢとまをてくおとそまをてくおとそまをてく
 ざららピラトユウダヤまをひんいでんおとそまをてくおとそまをてく
 十五(ま)なんぢよまをてくおとそまをてくおとそまをてく

ピラトピラトは、ピラトなる人の王と十字架十字架よつひんやと
 いふは祭司祭司のよきことなり。ハカイザルのやうな
 王あり。夫のよきことと十字架よつひんやせんとうと
 して、耶穌ととりてひまゆひり耶穌
 十字架とあて髑髏と髑髏とろよづこれとヘブライの
 こゝじよとギリゴダとギリゴダと十字架よ
 つひん二人ハ耶穌とみてつひり
 夫ピラトピラトとあてと十字架よつひり。ハユウダヤ
 人の王ナザレの耶穌とあて耶穌と十字架

よギリゴダとギリゴダと十字架よ
 ありヘブライとヘブライとローマのピラトよつひんハユウダヤ
 人の王ユウダヤの祭司のよきことなり。ピラトよつひんハユウダヤ
 人の王とあて耶穌と十字架よつひんやせんとうと
 して、耶穌ととりてひまゆひり耶穌
 十字架とあて髑髏と髑髏とろよづこれとヘブライの
 こゝじよとギリゴダとギリゴダと十字架よ
 つひん二人ハ耶穌とみてつひり
 夫ピラトピラトとあてと十字架よつひり。ハユウダヤ
 人の王ナザレの耶穌とあて耶穌と十字架

してこれのめよせんや聞よまぞバーニハ聖書よりがうらむべ
 とたぐひよるげもがらむいよいつて聞よらぬといひ
 よかあつんとありゆゑよつらめこのよをせり^五まそ耶穌
 の母と母の妹及^残キロバの妻あるマリヤとマグダレ子のマリヤとその
 十字架のうらうらまたり^三まよそ耶穌母といつく一む
 とそのの門徒とらうらうとてその母よいひけるハさん
 よやんらの子とらよ^六まそ門徒よいひけるハさんらの母とらよ
 こののらそので耶穌の母とおのれの家よつまいひけりこの
 のら耶穌よてこのまをよおくれとらうて聖書よ^七かあよ

ためよ^八そ渴ありといつり^九元^{一〇}に醋のちらうらうつとを
 おれ^{一一}バつらものも海^{一二}絨と醋^{一三}よい^{一四}そぶたつて
 その口よあ^{一五}耶穌醋とら^{一六}げ^{一七}のら^{一八}い^{一九}ひ^{二〇}けるハ^{二一}ら^{二二}う^{二三}め^{二四}首^{二五}
 とされて^{二六}靈と^{二七}そ^{二八}せり^{二九}この日^{三〇}ま^{三一}つ^{三二}りのそ^{三三}あ^{三四}日^{三五}あ^{三六}ま^{三七}
 安息日よ^{三八}尸^{三九}と十字架^{四〇}のう^{四一}よ^{四二}ま^{四三}そ^{四四}お^{四五}ぶ^{四六}ら^{四七}い^{四八}め^{四九}に^{五〇}ユ^{五一}ダ^{五二}ヤ
 ぐピラトよ^{五三}ま^{五四}の^{五五}あ^{五六}そ^{五七}り^{五八}そ^{五九}尸^{六〇}と^{六一}ま^{六二}そ^{六三}い^{六四}そ^{六五}ぬ^{六六}け^{六七}り
 い^{六八}ま^{六九}な^{七〇}れ^{七一}バ^{七二}の^{七三}あ^{七四}ん^{七五}そ^{七六}日^{七七}ハ^{七八}大^{七九}事^{八〇}あ^{八一}る^{八二}日^{八三}あ^{八四}ま^{八五}バ^{八六}あ^{八七}り^{八八}
 てつ^{八九}ら^{九〇}の^{九一}耶穌^{九二}と^{九三}ら^{九四}に^{九五}十字架^{九六}よ^{九七}つ^{九八}ひ^{九九}ら^{一〇〇}ま^{一〇一}の^{一〇二}あ^{一〇三}そ^{一〇四}先^{一〇五}
 よ^{一〇六}ら^{一〇七}耶穌^{一〇八}よ^{一〇九}ら^{一一〇}て^{一一一}ら^{一一二}や^{一一三}死^{一一四}し^{一一五}ら^{一一六}そ^{一一七}の^{一一八}あ^{一一九}そ^{一二〇}

第二十章

七日ぐいめの日マガダレ子のマリア 曉あけしきしきと
墓かぶよこさつりて石の墓かぶよりこさつしとらるニつひよシモン
ペテロと耶穌のつづく一むとらるの門徒かどよとらるゆとそ
くつよいひびるハれと墓かぶよりこらるしめありれ
らつこよとらるやとらるととらるペテロとそのふりの
ぞとらる墓かぶよりこらるぬ二人たがひよとらるから
の門徒かどペテロよりこらる先まよ墓かぶよとらる五五踏かて
戸かどとつみ一布ぬいのおびるとらるされとらるぞニモシモン
ペテロ

とらるよおられてとらるふりつみ一布ぬいのおびるとを
らるせまうしその首かぶとつみ一和わぬぐひハ戸かどとつら一布ぬい
とらるよおらるぞとらるめてとらるのとらるよたらみとおびら
とらるよとらるとらるめよ墓かぶ一とらるしり一とらるの門徒かどもつりこれ
とらる信しんぜり九九このとらるや一とらるのとらるのよみとらるぶ
とらるよとらるとらるれがあり十とらる門徒かどはましおのまのやとらる
とらるしり十マリアハ墓かぶのそとらるにとらるていびとつ墓かぶよむ
とらる踏かてとらるりの天の使つかいとらるよとらるよと着き耶穌の
戸かどとおびるとらるよ一人ハ首かぶよ一人ハぬいよとらると

ていり三天の使ミよひけるハアンぞいびくや
うクいひける主ミよめありていふまふや
あハあり苗ミいふいりむりそ耶穌のたらし
とハあれども耶穌あをすとあミ耶穌ミよひ
けるハアンぞいびくやミいづあるぞマリア
園とハありとあミよひけるハミいんち
よハいひけるハミいんちミいんちミいんちミ
とハマリアミいんち
とハラボニミいんちミハ夫子

ていり七耶穌ミよひけるハミいんちミいんちミ
とハいびくミいびくミ兄弟ミ
よハいんちミいんちミ神ミ
いんちミの神ミいびくミガタミ子のマリアミいんちミ主ミを見又
いハいんちミいんちミ門徒ミいづり也ミこの日のくれミ二七日ミ
のいぬの日ミユウダヤ人ミいんちミいんちミ門徒ミのあつ
まハいんちミいんちミの門ミいんちミ耶穌ミいんちミ
いんちミいんちミいんちミいんちミいんちミ
その手ミいんちミいんちミいんちミ門徒ミ主ミをいんちミ

とありとあせり^三いんぢう耶穌ハ神の子キリストと信ド又
信ドてその名よりていのちあらんためよこのこととある
Jesus

第二十一章

このころ耶穌まゝいおのれと^四ティベリアのぶづらみよそ門徒
よあしとせりあしをもこと左のころニシモンペテロとよ
子といつるトマスとガリラヤのカナのナタナヘルとゼベダイの子
いらまゝいあめの二人の門徒とともよありニシモンペテロ彼
らよひひらハヨ^五漁よゆん^六よひひらハヨ^七よひひらハヨ^八

このころゆんといぞ^九舟よのりその夜あしもとら^四とらや
夜もあひあ^五バ耶穌とよ^六とらやれど門徒ハ耶穌ある
このころとら^五耶穌とよ^六にひひらハ子どもよ^七食物
あちやよ^八にひひらハ^九耶穌とよ^十にひひらハ^{十一}
の右よあしとら^{十二}とら^{十三}て魚^{十四}よ^{十五}とら^{十六}
ひ^{十七}とら^{十八}とら^{十九}とら^{二十}とら^{二十一}とら^{二十二}とら^{二十三}
のて^{二十四}ペテロよ^{二十五}にひひらハ^{二十六}れ^{二十七}主^{二十八}あり^{二十九}シモンペテロ^{三十}主^{三十一}なりと^{三十二}
と^{三十三}と^{三十四}と^{三十五}と^{三十六}と^{三十七}と^{三十八}と^{三十九}と^{四十}と^{四十一}と^{四十二}と^{四十三}と^{四十四}と^{四十五}
と^{四十六}と^{四十七}と^{四十八}と^{四十九}と^{五十}と^{五十一}と^{五十二}と^{五十三}と^{五十四}と^{五十五}と^{五十六}と^{五十七}と^{五十八}と^{五十九}と^{六十}と^{六十一}と^{六十二}と^{六十三}と^{六十四}と^{六十五}と^{六十六}と^{六十七}と^{六十八}と^{六十九}と^{七十}と^{七十一}と^{七十二}と^{七十三}と^{七十四}と^{七十五}と^{七十六}と^{七十七}と^{七十八}と^{七十九}と^{八十}と^{八十一}と^{八十二}と^{八十三}と^{八十四}と^{八十五}と^{八十六}と^{八十七}と^{八十八}と^{八十九}と^{九十}と^{九十一}と^{九十二}と^{九十三}と^{九十四}と^{九十五}と^{九十六}と^{九十七}と^{九十八}と^{九十九}と^百

よてあまのうぎひのやいれり九つにつひバ炭火と又
 そのうしよのせざる魚と餅とをさうり+耶穌うまうまひ
 げらひまうりーの魚すーのちさうれ士シモンペ
 船よのがり魚百五十三尾おろひある魚よそさうらあ
 とまうーよひかりくあひまうまあひまうまうあり士
 耶穌うまうまひひびらハさうりて食せよ門徒ハ
 あてうまよなんぢハれとづあるそとあまぜハ
 主ありとちまバあり士耶穌さうりて餅とさうら
 よあま魚もまうまうさうら_由耶穌よまうらーのち

おのまを門徒よあまうまてこれまびめあり士
 うまう食てのち耶穌シモンペテロよひびらハヨナの子シモン
 よまううまうなんぢハれとづあるそとあまぜハ
 主さうりまが主とさうらとあまう耶穌うま
 いひびらハヨナが羔と牧よまうまうまうまうまうまうまう
 の子シモンよまうまうまうまうまうまうまうまうまうまう
 まが主とさうらとあまうたまう耶穌れよひびら
 まが羊と牧よまうまうまうまうまうまうまうまうまうまう
 まうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまうまう

いふれよふりてうきひ耶穌よひひけるハ主よあつてと
 ころあくりが主といつくしむことありたまふ耶穌れよ
 いひけるハ我が羊を救ふまことたまふやんどもつひん
 いひけるはさしさいおのれよ帶してころよかあふころよ
 あふやめ老くころよと手とのでて人ぢんぢを帶してこ
 ろよかあつてころよとあふひんまことといひハいある死
 よそ神とあがんとあめさしをうくいひてころよ
 いひけるハさしよあつてころよテペテロありむいて耶穌
 のいつくしむころの門徒あつてころよ食する

とき耶穌のむひよふりて主とすつてめハされぞやと
 いひ門徒ありニペテロこそとて耶穌よひひけるハ
 主やふの人といふよせんニ耶穌よひひけるハ
 がさつてよされよめまつとをあつてぢんぢ
 よあんのころることあつんややんぢハさしよあつて
 よニそのでハ死あぞといひくと兄弟のうちに出
 されども耶穌ペテロよさしハ死あぞといふぞいふ
 つがさつてころよめつさしれのみまつとをあふハぢん
 ぢよあんのころることあつんやといひありこれ

らのこころを證とす。一、まゝにこれとらるや。一、そのこ
 の門徒ありと云はらそのありのまゝとあることと云は
 り。五、これらより知るは耶穌のませ。一、ことおろくあり。一、
 これを一、くちるなれあだもるなれ。一、書ハこの世よな
 ものせつとまゝとあることと云はら。一、おろく。一、
 亞孟

